

第44回歴博映画の会

宮本馨太郎のアチック映画作品 — 台湾高雄・パイワン族の記録 —

2025年1月18日(土)

13:30~15:30

入場無料 事前申込不要(当日先着 240名)

会場

国立歴史民俗博物館講堂

解説

内田 順子 (国立歴史民俗博物館副館長)

上映作品

『台湾高雄州潮州郡下 パイワン族の採訪記録』

(1937年、撮影：宮本馨太郎、アチックミュージアム作品、約47分、サイレント)

*『甦る民俗映像』2016年、岩波書店、所収

この映像資料は、日本統治下の台湾で、1937(昭和12)年3月26日~4月6日にかけて、宮本馨太郎、小川徹、鹿野忠雄が、パイワン族の住む台湾南部山岳地帯を訪ねて調査し、作成した記録である。撮影者は宮本馨太郎で、映像には字幕と略地図が加えられている。撮影対象を特定のテーマに限定するのではなく、生活環境、生業、服装、民具の制作、舞踊、祈祷等、生活風景全般にカメラを向け、編集している。

本映像および当時の調査に関連して残された文献等の内容から、本映像資料の歴史的意義について考える。

国立歴史民俗博物館には、制作及び収集してきた民俗と歴史の記録映画があります。これらの映像を通じて民俗と歴史への知識と理解を深めていただくとともに、歴博の研究活動を広く皆様に知っていただきたいと思っております。教員による作品解説も行います。皆様お誘いあわせのうえ、おいでください。

【お問い合わせ】

国立歴史民俗博物館 広報課
043-486-0123(代)
sfukyu@ml.rekihaku.ac.jp

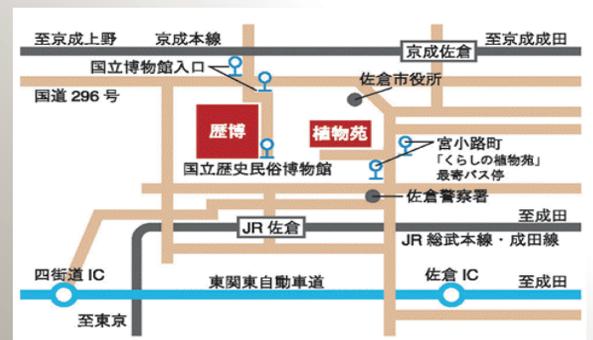


れきはくホームページ

(一財) 歴史民俗博物館振興会
043-486-8011(平日9:00~17:00)
tomonokai@rekishin.or.jp



友の会ホームページ



【京成電鉄ご利用の場合】京成佐倉駅下車、バス約5分。徒歩約15分。
【JR東日本ご利用の場合】総武本線佐倉駅下車、バス約15分。
【自動車ご利用の場合】東関東自動車道、四街道ICまたは佐倉ICから約15分
(無料駐車場完備)

主催：国立歴史民俗博物館

協力：国立歴史民俗博物館友の会